

今こそ  
若い力で  
新しい習志野。

# Report

関根ひろゆき

No.  
34

令和二年度  
第一回定例会市政報告



## JR津田沼駅南口の再開発について

Q: JR津田沼駅南口の再開発の進捗状況はどうか。

A: 本市の表玄関として相応しい駅前空間の創出に資する商業施設等の配置計画や、駅前広場計画、津田沼駅を中心とした都市交通基盤の形成、津田沼緑地を含めた一体的な再開発に向けて関係各所と協議中。  
また、文化ホールについては庁内検討会の設置、市民意識調査等により、今後の在り方を検討していく。

要望: 文化ホールについては現在の位置での再整備、規模は現在よりも大きく建設した方が、人の流れ、地域の活性化を図れる。

## 新津田沼駅南口の再開発について

Q: 新津田沼駅南口の再開発の進捗状況についてはどうか。

A: 現在の公園の位置に、1階にバスターミナル、2階にイベント広場の設置を予定している。新たに建設予定の商業施設内には民間主体による駐輪施設が設置予定であり、歩行者空間の確保に努める。

要望: JR津田沼駅周辺の再開発は今後100年を占う事業である。この事業の成功が、習志野市の未来を決めることとなる。  
官民一体となり、文化ホールの再整備も含め、魅力あるまちづくりを要望する。

## 市内マンションの建て替えについて

習志野市では193のマンションに区分されており、資料にあるマンションで一番古いものは築53年を経過しており、全てのマンションの築年数は約27年という数字がわかりました。国交省の報告書によりますと、マンションの平均寿命は約46年、建替え物件の着工時期の平均も築後37年となっております。

今後10年あるいは20年で額面通りにいけば、習志野市のマンションの多くが寿命を迎える事になります。マンションの建て替えは区分所有者の自助努力の原則があり、民間の資産に行政が手を出すことはなかなか難しい。また、建物とともに所有者も高齢化し、建替え自体が困難になっているマンションが多々ある事も事実です。しかしながら、マンション管理適正化法の改正案が閣議決定し、地方公共団体によるマンション管理適正化推進計画の策定や、管理適正化のための指導、助言、管理計画認定制度が求められるようになります。

**要望：国の動向の調査研究、そして相談体制の更なる強化を！**

## しおかぜホール茜浜について

Q:馬込斎場としおかぜホール茜浜の稼働率を伺う。

A:馬込斎場は概ね90%以上だが、しおかぜホール茜浜では40%前後の稼働率となっている。

その理由としては、構成4市市民に十分な認知をされていないこと、葬祭業者が使い慣れた馬込斎場を選択していること、地理的要因が推測されている。

**要望：馬込斎場の供給過多、老朽化対策のためにしおかぜホール茜浜は建設をされている。**

**市民の方々への周知徹底や、送迎バスサービスの実施等を行うように要望する。**

## しおかぜホール茜浜



令和元年10月供給開始  
総事業費約127億円  
本市茜浜3丁目  
火葬炉15基(現在12基)

# 活動報告 Report



草津音楽の森国際コンサートホール視察



ハッ場ダム視察

## PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒業

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年習志野市議会議員選挙当選(二期目)

ホームページ

<http://sekine-hiroyuki.jp>

発行：関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 📠 :047-779-4092

討議資料